

投資事業評価調書（新規）

部課室名	港湾課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	港湾課長 達可 明朝 (整備班長 藤田 幸治)	内線	4440 (4450)																									
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度																								
港湾事業	姫路港旅客ターミナルエリア再編整備事業	姫路港 飾磨・須加地区	37億円	0.3億円	令和2(2020)年度	令和6(2024)年度																								
事業目的			事業内容																											
姫路港の海の玄関口である旅客ターミナルエリアの活性化は、姫路市のみならず播磨地域の活性化に寄与する。 このため、ポートセンタービルの老朽化や耐震性能の不足、駐車場の不足等による利便性・快適性の欠如、貨物運搬と歩行者の輻輳等の課題解消を図るため「姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル基本計画（H30.3）」を策定した。 この基本計画に基づき、旅客機能の集約や貨物と旅客の効率的な機能配置などを行い、旅客船利用者の利便性・快適性の向上を図る。加えて、港湾施設の再編とあわせて民間事業者による新たな集客施設を導入することにより、にぎわいの創出を図る。			【工事概要】 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">・浮棧橋</td> <td style="width: 10%;">3基</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>・防波堤</td> <td>延長 200m</td> <td rowspan="2">} ※1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・物揚場(水深-3.5m)</td> <td>延長 182m</td> </tr> <tr> <td>・プロムナード</td> <td>延長 765m</td> <td rowspan="2">} ※2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェリー棧橋(水深-4.5m)</td> <td>延長 85m</td> </tr> <tr> <td>・貨物倉庫</td> <td>1棟</td> <td rowspan="3">} ※3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・駐車場</td> <td>面積 1.1ha</td> </tr> <tr> <td>・旅客船ターミナル改修(既存施設)</td> <td>1棟</td> </tr> </table> ※1（負担割合）国：4/10 県：6/10 ※2（負担割合）国：1/3 県：2/3 ※3（負担割合）県：10/10 【関連事業の概要】 ・集客施設(民間事業) 面積 1.0ha				・浮棧橋	3基			・防波堤	延長 200m	} ※1		・物揚場(水深-3.5m)	延長 182m	・プロムナード	延長 765m	} ※2		・フェリー棧橋(水深-4.5m)	延長 85m	・貨物倉庫	1棟	} ※3		・駐車場	面積 1.1ha	・旅客船ターミナル改修(既存施設)	1棟
・浮棧橋	3基																													
・防波堤	延長 200m	} ※1																												
・物揚場(水深-3.5m)	延長 182m																													
・プロムナード	延長 765m	} ※2																												
・フェリー棧橋(水深-4.5m)	延長 85m																													
・貨物倉庫	1棟	} ※3																												
・駐車場	面積 1.1ha																													
・旅客船ターミナル改修(既存施設)	1棟																													
評価視点	評価結果の説明																													
(1) 必要性	①小豆島・家島方面への定期旅客船利用や家島方面への貨物輸送、大型クルーズ船の寄港等、姫路港の海の玄関口として利用されているが、ポートセンタービルの老朽化や耐震性能の不足、駐車場の不足など、旅客機能の改善が必要。 ※定期旅客船利用者：約 91 万人/年、大型クルーズ船寄港：6 隻/年(令和元年度予定)、ポートセンタービル：昭和 50(1975)年建設（建設後 44 年経過） ②旅客船ターミナルは 1 階を貨物倉庫として利用しており、貨物運搬に時間を要する上、クルーズ船寄港時等には貨物車両と歩行者が輻輳するため、旅客と貨物の機能分離が必要。また併設する駐車場を含め低利用となっているため、旅客船ターミナルを活用したポートセンタービルの旅客機能の移転による旅客機能の集約が必要。 ③飾万津臨港公園前が物揚場となっており気軽に近づける水辺空間になっておらず、プロムナード等による魅力的なみまと空間の形成が必要。 ④旅客船利用者に加えて、地元、市民やその周辺住民等の多くの人々が利用できる新たな集客施設の導入により、姫路市の臨海部における人のにぎわいと魅力ある交流の場となることが期待されている。(民間資金を活用した関連事業)																													
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)	①費用便益比 $B/C=1.1$ ②旅客機能の集約による移動時間の短縮、貨物と旅客の機能分離による貨物車両と歩行者の輻輳解消とともに、エリア全体の再編整備により交流機会の増加が図られる。 ③学識経験者、地元代表、商工・観光・ふ頭関係者、行政で構成する「姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル基本計画策定委員会」において、再編整備の目指すべき方向性や取組方策を検討し、平成 30(2018)年 3 月に基本計画を策定している。 ④令和元(2019)年 7 月に港湾計画を改訂している。																													
(3) 環境適合性	①物揚場については既設の護岸を活用し、建設副産物や水質汚濁等の発生を最小限とすることから、環境に与える負荷が小さい。 ②陸域に加えて海上からの見え方にも配慮し、プロムナードや緑化整備を行い、姫路港の海の玄関口としてふさわしい良好な港景観の形成を図る。																													
(4) 優先性	①ポートセンタービル（(株)姫路ポートセンター所有）は、旧耐震基準の建物であり、建設後 44 年が経過していることから、更新時期（耐用年数：建設後 50 年）が迫っている。交通結節機能の維持・確保とともに、急増するクルーズ需要にも対応し臨海部のにぎわいの拠点を創出するため、早期に再編整備に着手する必要がある。																													
【事後評価】 対象・対象外	①当該エリアへの来訪者数及び満足度																													

姫路港旅客ターミナルエリア再編整備事業

位置図・平面図

目的

旅客機能を集約し、貨物と旅客の効率的な機能配置を行うことで、利便性・快適性の向上とターミナルエリアの活性化によるにぎわい創出を図る。

事業概要

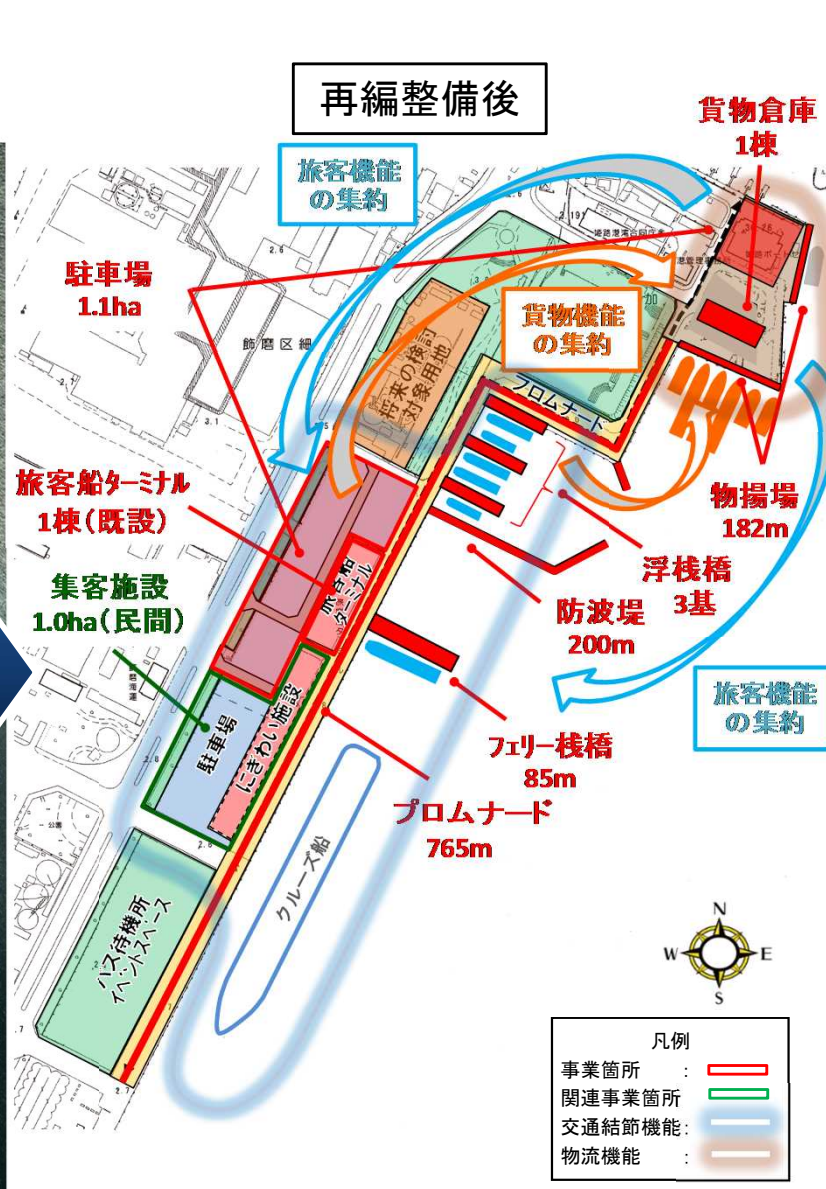
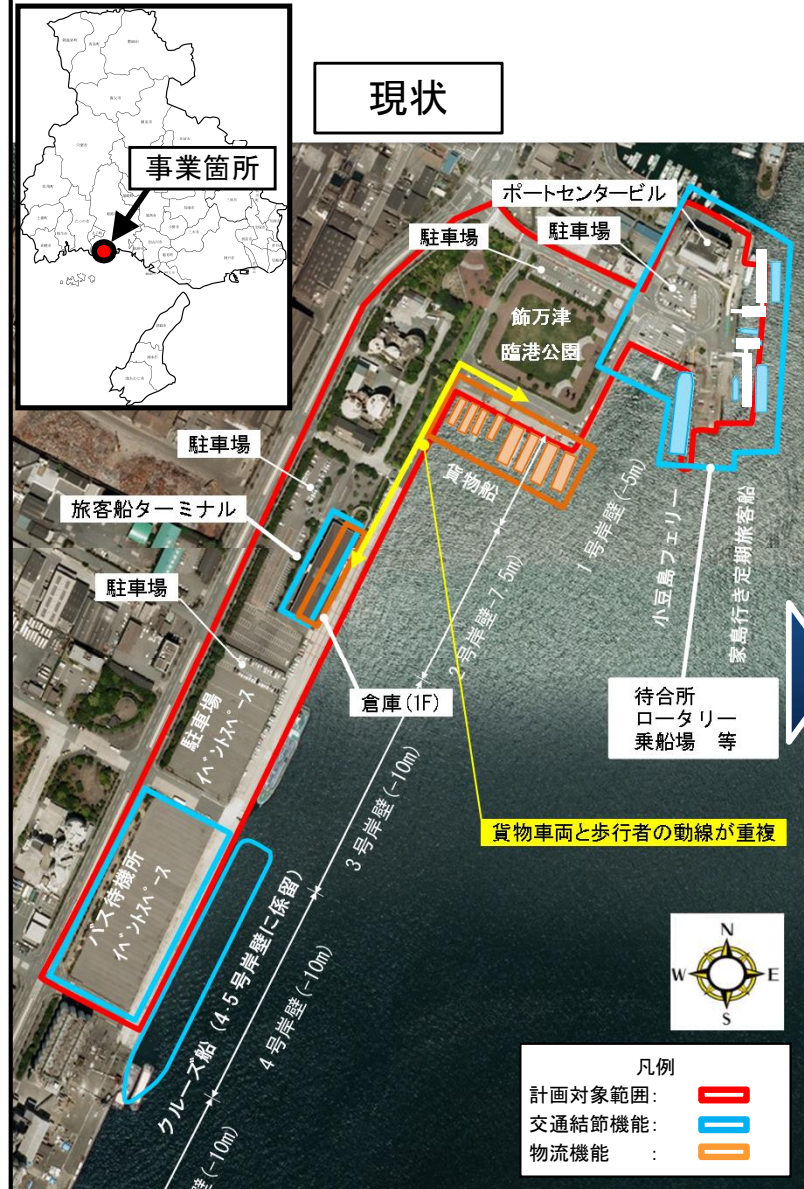
事業区間：姫路港飾磨・須加地区
 総事業費：37億円
 内用地補償費：0.3億円

事業期間：R2～R6
 事業概要：

- 【本工事】
- 浮棧橋 3基
 - 防波堤 延長200m
 - 物揚場(-3.5m) 延長182m
 - プロムナード 延長765m
 - フェリー棧橋(-4.5m) 延長85m
 - 貨物倉庫 1棟
 - 駐車場 面積1.1ha
 - 旅客船ターミナル改修(既設) 1棟
- 【関連事業】
- 集客施設(民間) 面積1.0ha
- 費用便益比B/C: 1.1

現状

再編整備後



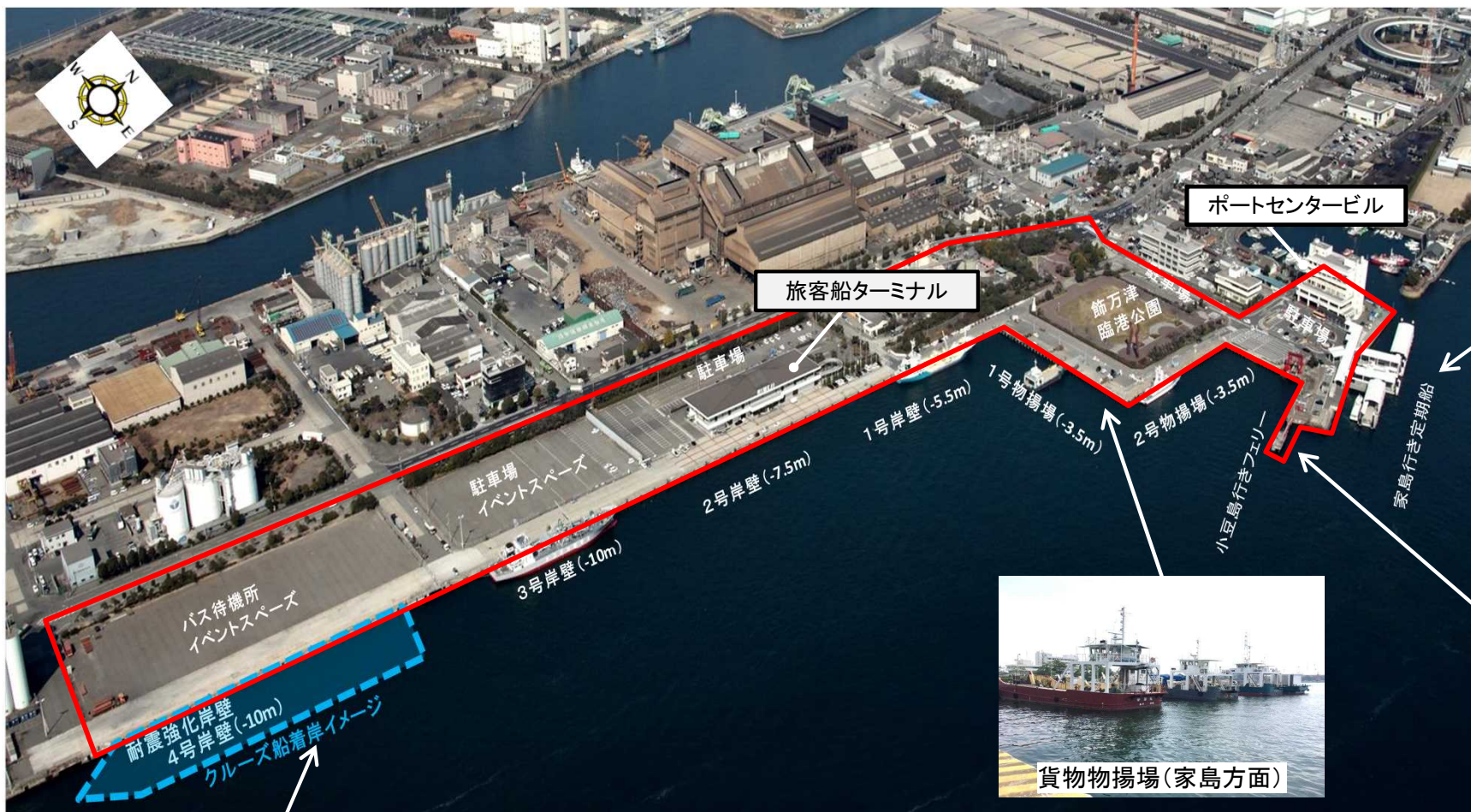
事業の必要性・優先性

- ① ポートセンタービル(建設後44年経過)は老朽化が進行し、耐震性能も不足している上、繁忙期には隣接する駐車場が不足しているため、旅客機能の改善が必要。
- ② 旅客船ターミナル1階は貨物用倉庫として利用しており、貨物車両と歩行者が輻輳している。急増するクルーズ需要にも対応するため、貨物と旅客の機能分離が必要。また旅客船ターミナルは併設する駐車場を含め低利用となっているため、旅客船ターミナルへのポートセンタービルの旅客機能の移転による旅客機能の集約が必要。
- ③ 飾万津臨港公園前が物揚場となっており気軽に近づける水辺空間になっておらず、プロムナード等による魅力的なみなと空間の形成が必要。
- ④ 旅客船利用者や地元、市民等の多くの人々が利用できる新たな集客施設の導入による、人のにぎわいと魅力ある交流の場の創出。

再編整備後のイメージ



姫路港旅客ターミナルエリアの概況



定期船棧橋 (家島行き)



フェリー棧橋 (小豆島行き)



貨物物揚場 (家島方面)

■ 令和元年度のクルーズ船の入港実績・予定

入港日	船名	総トン数	定員
4/5	ダイヤモンド・プリンセス	115,875総トン	2,706名
5/8	カレドニアン・スカイ	4,200総トン	114名
5/25	ル・ソリアル	10,700総トン	264名
6/10	カレドニアン・スカイ	4,200総トン	114名
8/20,22	につぼん丸	22,472総トン	398名
3/27	カレドニアン・スカイ	4,200総トン	114名

■ 定期旅客船の就航状況 (基本計画(H30.3)より)

方面	区間	運社数 (便数※)	年間乗降者
小豆島	姫路～小豆島	1社 (7往復/日)	約24万人
家島	姫路～家島	2社 (16往復/日)	約41万人
	姫路～坊勢	2社 (14往復/日)	約26万人
合計			約91万人

※便数は平日



クルーズ船寄港

事業の必要性・優先性①

- ・ポートセンタービルは老朽化が進行しており、耐震性能も不足している
 - ・隣接する時間貸駐車場が繁忙期には不足している
 - ・定期船利用者が利用する月極駐車場が当該エリアから遠く、駐車台数も不足している
- ⇒ポートセンタービルの旅客機能の改善が必要

①ポートセンタービル

昭和50年に建築された地上6階、地下1階のRC造建築物。旧耐震基準の建物で建設後44年が経過し老朽化が進行。



(ポートセンタービル外観)

地下：駐車場
1F：乗船券売場、待合室、売店
2F：姫路みなとミュージアム
3～5F：貸会議室、貸事務所
6F：旅館（閉鎖中）
所有：㈱姫路ポートセンター



(1F待合室の状況)

②駐車場

- ・時間貸駐車場（全76区画）



(繁忙期の満車状態の時間貸駐車場)

- ・月極駐車場（全536区画）



(全区画契約済の月極駐車場)

港湾-5



出典：国土地理院

事業の必要性・優先性②

- ・旅客船ターミナル1階は貨物用倉庫として利用しているため、クルーズ船寄港時等に貨物車両と歩行者が輻輳している
 - ・貨物倉庫から物揚場まで遠く貨物運搬に時間を要している
- ⇒貨物と旅客の分離による効率的な機能配置が必要



(旅客船ターミナル1Fの倉庫)



(貨物の積込・運搬状況)



(クルーズ船寄港時の貨物車両の警備状況)

事業の必要性・優先性②

・ポートセンタービルの旅客機能の改善が必要である一方で、旅客船ターミナルは併設する駐車場を含め低利用に止まっている
⇒旅客船ターミナルを活用したポートセンタービルの旅客機能の移転による旅客機能の集約が必要

旅客船ターミナルは、大型旅客船等の不定期便発着のターミナルとして平成元年に建設された地上2階建てのS造建築物で新耐震基準の建物だが、2階は企業の展示販売会で利用される等、待合所としての利用はない。



旅客船ターミナル（岸壁側外観）



(2Fの展示会利用)

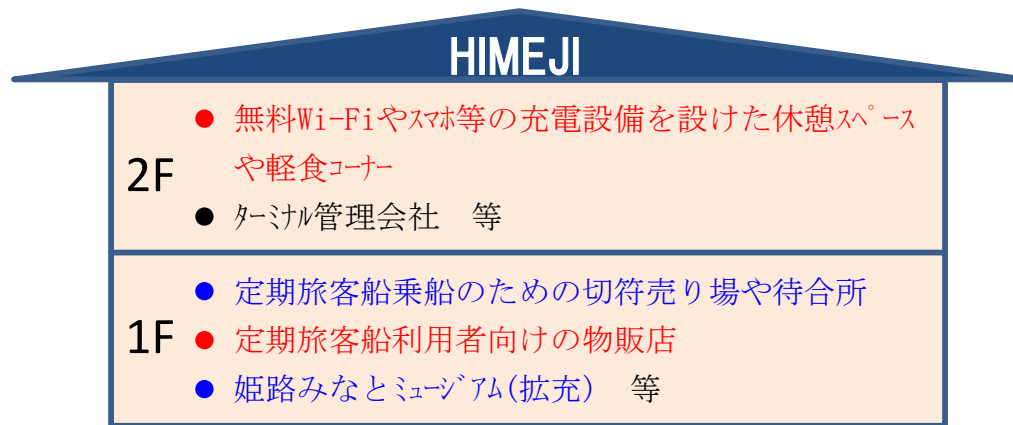


(低利用の駐車場（全197区画）)

■旅客船ターミナルの使用状況（基本計画(H30.3)より）

利用形態	使用日数	集客人数
民間企業の物産展等	62日	11,760人
海上保安部テロ対策訓練	1日	120人
イベント(ふれあいフェスティバル・みなと祭り等)	4日	—人
合計	67日	11,880人

□旅客船ターミナルに移転・導入する主な旅客機能



※青地はポートセンタービルから移転する機能、赤字は新たに導入する機能



(現在の定期旅客船の切符売り場)



(現在の姫路みなとミュージアム)

事業の必要性・優先性③

- ・飾万津臨港公園前は物揚場であるため気軽に近づける水辺空間になっておらず、日常利用が低調
 - ・海の玄関口として港景観形成がなされていない
- ⇒プロムナード等の整備による魅力的なみなと空間の形成が必要

飾万津臨港公園は、姫路港ふれあいフェスティバルや姫路みなと祭ではメイン会場や花火の観覧場など主要施設として利用されているが、前面に物揚場があるため気軽に近づける水辺空間になっていない。



飾万津臨港公園

(飾万津臨港公園の前面に物揚場)



(姫路港ふれあいフェスティバル)



(姫路みなと祭り花火大会)

■姫路港での主なイベント（基本計画(H30.3)より）

イベント	開催日	来場者数	概要
姫路港ふれあいフェスティバル(夏)	H28.7.18	8,000人	地元幼稚園・小・中学校、地域団体などのステージ演奏 特産物やご当地グルメの販売・展示 帆船「みらいへ」の一般公開 海上保安部巡視艇「ぬのびき」一般公開 スタンプラリー しらすぎ姫路みなとドームでの参加型サッカーイベント
姫路みなと祭	H28.7.30	65,000人	海上放水パレード・海上花火大会
姫路港ふれあいフェスティバル(秋)	H28.10.30	4,000人	地元幼稚園・小・中学校、地域団体などのステージ演奏 特産物やご当地グルメの販売・展示 海上保安部巡視艇「ぬのびき」一般公開 はたらくクルマ大集合 みなとDEハロウィン(仮装イベント)

事業の必要性・優先性④

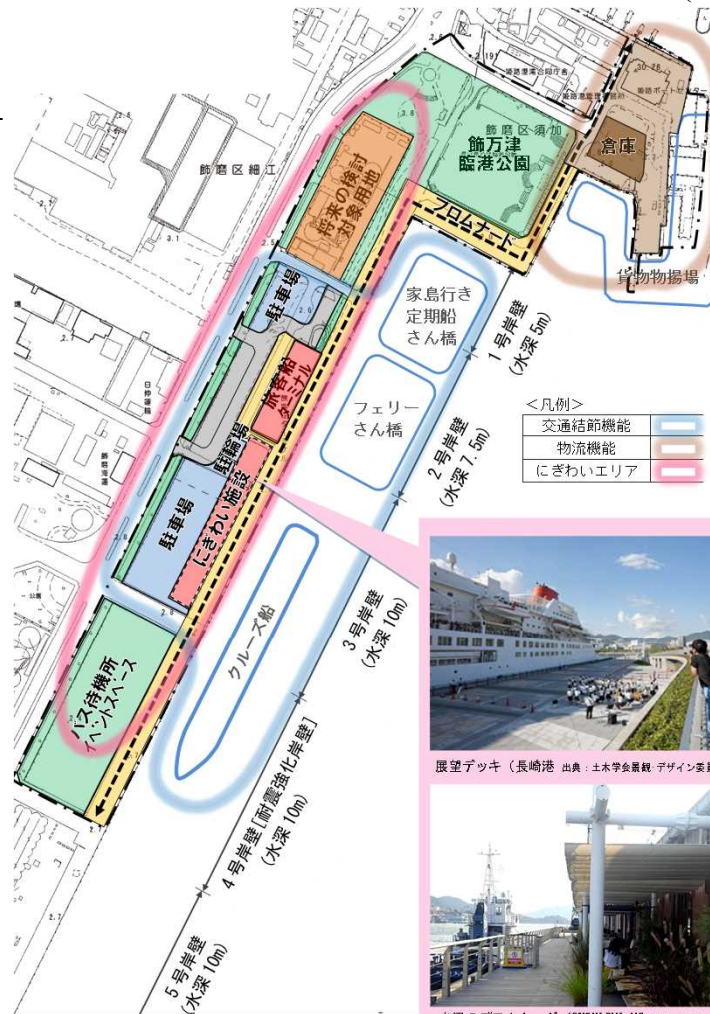
・港湾施設の再編とあわせて、旅客船利用者や地元、市民やその周辺住民等の多くの人々が利用できる新たな集客施設の導入により、姫路市の臨海部における人のにぎわいと魅力ある交流の場づくりが期待されている

【姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル基本計画の検討に係るアイデア募集より】
(平成29年9～10月実施：兵庫県)

■にぎわい施設の導入例（基本計画(H30.3)に一部加筆）

魅力的な機能導入によるにぎわいの拠点づくりに関するアイデア：

- a)とれとれ市場・海産物の販売コーナー等、海産物や特産品を活かした施設
- b)簡単な食事ができるところ、海を眺められるカフェ
- c)観光情報の発信・充実
- d)みなとミュージアムの改善・充実
- e)歴史・文化情報の発信・充実
- f)公園の充実、レジャー施設、スポーツ施設、リゾート施設、商業施設、展望施設



にぎわいエリアのリニューアル例



レストラン（松山観光港 出典：松山観光港HP）



物産販売（道の駅マリニピア伊東 出典：現地で撮影）



展望デッキ（長崎港 出典：土木学会展覧、デザイン委員会HP）



サイクリング拠点（ONOMICHI U2 出典：eyelowed HP）



水辺のプロムナード（ONOMICHI U2 出典：現地で撮影）



博物館（神戸海洋博物館 出典：神戸海洋博物館HP）



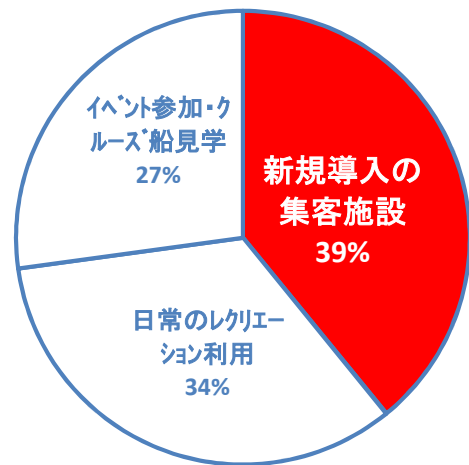
多目的スポーツ施設（イメージ）



複合商業施設（イメージ）

【姫路港旅客ターミナルエリアリニューアルに係る利用意向Webアンケート結果より】
(平成31年3月実施：兵庫県)

リニューアル後に行ってみたいと答えた方の訪問目的：
「新規導入の集客施設の利用」の割合は約40%



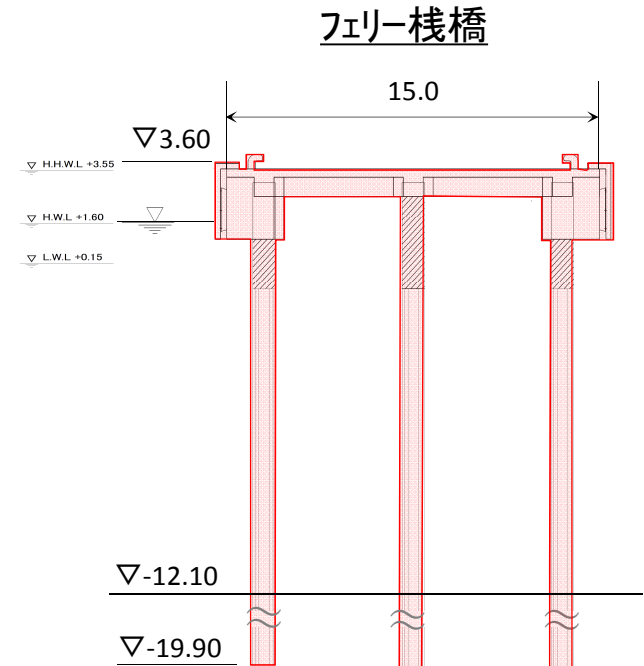
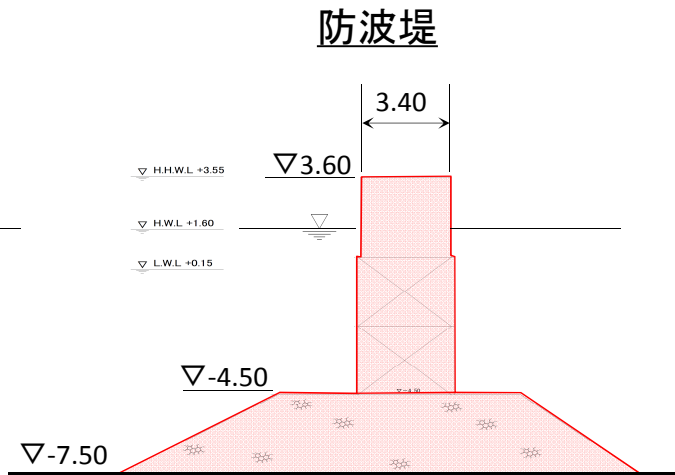
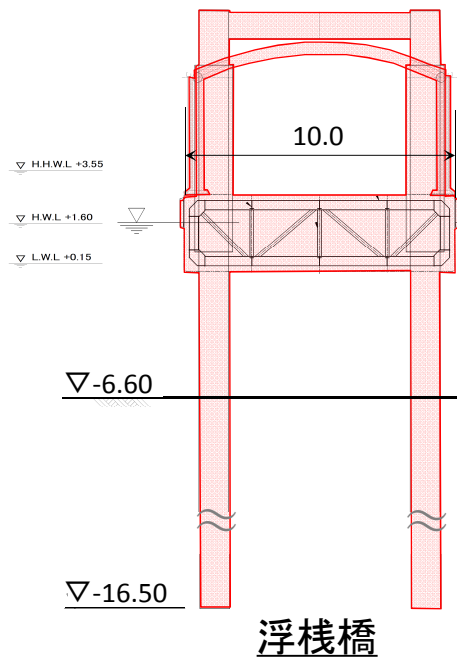
工程表

区分	施設	R2	R3	R4	R5	R6
港湾事業	浮棧橋		■			
	防波堤			■		
	物揚場				■	
	プラット		■	■		
	フェリー棧橋	■				
	貨物倉庫				■	
	駐車場		■ (旅客船ターミナル背後)			■ (貨物倉庫背後)
	旅客船ターミナル改修(既設)	■	■			
関連事業	集客施設(民間事業)		■	■		

旅客機能の供用開始



計画標準横断図(主要なもの)



事業の有効性・効率性

(1) 費用対効果

① 便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)
旅客の安全確保	貨物と旅客の輻輳が解消されることによる便益 (クルーズ船寄港時の警備員の配置が不要になることによる便益)
移動コストの削減	駐車場から乗船までの移動時間が短くなることによる便益 貨物倉庫から物揚場までの運搬距離が短くなることによる便益
交流機会の増加	水辺空間の形成などエリア全体の再編整備に伴うにぎわいの発生により、来訪者が増加することによる便益

② 費用便益比(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		C(費用)			B/C	
		便益額 (百万円)	代表的な効果	総費用	事業費	維持 管理費		
				(百万円)	(百万円)	(百万円)		
港湾	姫路港旅客 ターミナルエリア 再編整備事業	旅客の安全 確保	16	警備員削減:8人/回→0人/回	3,287	3,255	31	1.1
		移動コスト の削減	486	時間短縮(旅客):約4分/往復 時間短縮(貨物):約1分/往復				
		交流機会の 増加	3,173	訪問回数の増加:94,230人/年				
		計	3,674					

※端数処理の関係で合計は一致していない

(2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点		効果項目	該当する事業内容等	
利用者	交流・レクリエーション	クルージング機会の増加	○	当該エリアの利便性・快適性の向上とにぎわいの創出により、クルージングの魅力が向上し、クルージング機会の増加に寄与。
地域社会	環境	良好な景観の形成	○	陸上に加えて海上からの見え方にも配慮し、プロムナードや緑化整備を行い、姫路港の海の玄関口としてふさわしい良好な港景観を形成。
	交流・レクリエーション	観光地としての魅力向上	○	当該エリアの利便性・快適性の向上とにぎわいの創出に合わせて、ポートセールスの推進や観光情報の発信・充実を図ることにより、各観光地の魅力向上に寄与。

(3) 地域からの要望状況等

要望状況等	学識経験者、地元代表、商工・観光・ふ頭関係者、行政で構成する「姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル基本計画策定委員会」において、目指すべき方向性や取組方策を検討し、平成30年3月に基本計画を策定している。
-------	---